2020/06/29 22:46

多田雅史

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会（BYA)【情報 Vol.２１１】

各位（本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、医療過誤団体、野党政党等の約400カ所へBCC送信しています）

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会（BYA）の多田雅史です。
本メールはベンゾジアゼピン（BZD）関連情報をお送りしています。
⑴ 新規の情報提供希望者が身近におられた場合、BYA－HPの「お問合せ」をご紹介ください。
https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/
⑵ 有用な情報をお持ちの方は本メールに返送してお知らせください。皆さんに情報提供します。
⑶ 情報の中で「拡散すべき情報」があれば、皆さんの判断で自由に「転送・SNS拡散」してください。

【目次】
１．ベンゾジアゼピンの副作用及び治療の体験集の追加（**新規掲載**）
２．ベンゾジアゼピン「711」の行政文書の不開示決定に対する審査請求書（**添付**）
３．若年層の大麻汚染　昨年の書類送検、逮捕　過去最多４３２人（**添付**）
４．覚醒剤密売グループ摘発　静岡県警、所持容疑で３人逮捕（**添付**）
５．障害年金、うつや内臓疾患も対象　年200万円強支給も
６．発がん疑惑の除草剤巡る米巨額訴訟、１兆円で和解　日本でも懸念強まる（**添付**）
７．名市大病院で医療過誤　家族側と和解　解決金支払いへ／愛知（**添付**）

【記事】
１．ベンゾジアゼピンの副作用及び治療の体験集の追加（**新規掲載**）
No.11体験者（Ｎ.Ｋ.）を追加しました。
皆さんも体験集を掲載しませんか？希望される方は、メールでお送りください。
https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/%E3%83%99%E3%83%B3%E3%82%BE%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%BC%E3%83%94%E3%83%B3%E3%81%AE%E5%89%AF%E4%BD%9C%E7%94%A8%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B2%BB%E7%99%82%E3%81%AE%E4%BD%93%E9%A8%93%E9%9B%86/

２．ベンゾジアゼピン「711」の行政文書の不開示決定に対する審査請求書（**添付**）
MHLWの不開示決定に対して、当会は、行政不服審査法第2条により、厚生労働大臣に対して審査請求を行った。
情報提供Vol.210で、『同じ陳情の711を繰り返しても、「ベンゾジアゼピン薬害」の解決にはならない。』とお伝えしました。
誤解されている方がいるかもしれませんが、711自体は意味があります。しかし、現状の方法では行政に対する活動は意味がない＝効果がない、ということです。また、「時効」という問題もあります。時間が経てば経つほど、不利な状態になります。

MHLWの方針は「医薬品添付文書を改訂して規制したのでベンゾジアゼピン問題は終わり」でしょう。しかし、実際の国内の処方総量が減少していないので、そこが突き所だと思います。ベンゾジアゼピン医薬品添付文書の改訂や診療報酬の減算規制は、INCB警告（2010年次報告書）への対策として採られたが、効果を上げておらず、中医協でも、健保連がそれを指摘している。

2020/06/29 22:46
３．若年層の大麻汚染　昨年の書類送検、逮捕　過去最多４３２人（**添付**）
https://www.tokyo-np.co.jp/article/38410
以下引用
『若年層の大麻汚染が深刻となっている。昨年、県警が大麻を所持、栽培したとして、大麻取締法違反容疑で逮捕や書類送検したのは、前年より六十三人増で、過去最多の四百三十二人に上った。十、二十代が全体の六割以上を占めており、若者への浸透に歯止めがかからない状況だ。』

違法薬物の自由化・非刑罰化（NCNP松本俊彦の提唱）で日本は救われるだろうか？

４．覚醒剤密売グループ摘発　静岡県警、所持容疑で３人逮捕（**添付**）
https://www.at-s.com/news/article/social/shizuoka/779552.html
以下引用
『営利目的で覚醒剤を所持していたなどとして袋井、静岡南両署と県警薬物銃器対策課は２５日までに、覚醒剤取締法違反や麻薬取締法違反の疑いで男女３人を逮捕した。３人は県内を拠点とする覚醒剤密売グループのメンバーで、県中東部を中心に、全国に５０人近い顧客を抱えていたとみられる。県警は同日までに、客１３人も覚醒剤取締法違反の疑いで逮捕していて、今後、密売グループの実態解明を進める。』

違法薬物の自由化・非刑罰化（NCNP松本俊彦の提唱）で日本は救われるだろうか？

５．障害年金、うつや内臓疾患も対象　年200万円強支給も
https://www.nikkei.com/article/DGXMZO60733180U0A620C2K15300/

６．発がん疑惑の除草剤巡る米巨額訴訟、１兆円で和解　日本でも懸念強まる（**添付**）
https://news.yahoo.co.jp/byline/inosehijiri/20200626-00185233/
以下引用
『除草剤を使用したら癌（がん）になったとして、米国の患者らが製造元の独バイエルを相手に起こした巨額訴訟は、バイエルが総額109億ドル（約1兆1700億円）を支払うことで和解した。この除草剤は日本でも農業や家庭菜園、公共スペースの除草などに利用されており、様々な食品にも残留している。このため、消費者の間で不安が高まっている』

同じ製品は日本でも販売されている。米国では約1兆1700億円の賠償命令でも、一方、日本の司法は「0円か、放置」だろう。司法が「**御用司法**」になっている日本は、中国や北朝鮮と大差ない。

７．名市大病院で医療過誤　家族側と和解　解決金支払いへ／愛知（**添付**）
https://mainichi.jp/articles/20200627/ddl/k23/040/147000c
以下引用
『名古屋市立大病院（同市瑞穂区）は２６日、緊急入院後に寝たきりになった市内の６０代女性と家族

2020/06/29 22:46
から約１億４０００万円の損害賠償を求められた訴訟の和解が、名古屋地裁で成立したと発表した。病院側が解決金を支払う。和解は２５日付。病院側は家族に謝罪したという。』

公立病院では、医療事故の請求が認めらられる＝和解されることが多発している。民間病院や国立病院は、一切、事故がないらしい。信用できるだろうか？　事故を隠蔽しているだけである。民間病院や国立病院には行かない方がBetter。

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会　多田雅史